

## ギガビット研究会 通常総会・第14回シンポジウム開催報告

日時：2018年6月29日(金) 13:00～17:00

会場：国立大学法人電気通信大学 創立80周年記念会館「リサーチ」

ギガビット研究会では通常総会を年1回、シンポジウムを年2回開催しています。今回は2018年度の初めに当たりますので、総会と第14回シンポジウムを合わせて開催いたしました。シンポジウムに先立って開催された総会には、議決権のある会員の方々にご出席いただきました。(会員総数：59名、出席：12名、委任状：20名) 2017年度の事業報告及び決算の承認、2018年度事業計画及び予算の承認を行い議題はすべて承認されました。

その後の第14回シンポジウムでは、今話題のIoT(物のインターネット)において次世代通信システム5Gがどのようなところで、どのように使えるのか、またセキュリティの問題は、などを主にご講演いただきました。休憩の後には、ギガビット研究会活動状況に関する報告がありました。シンポジウム閉会後の懇親会では、有益な情報交換が行われると共に一層の親睦が深められました。

### プログラム

13:00～13:20 通常総会

#### 第14回シンポジウム

13:30～14:35 基調講演『5G(次世代移動通信方式)の新技术とその応用展開』

株式会社NTTドコモ 5Gイノベーション推進室

5G方式研究グループリーダー 奥村 幸彦 氏

第5世代移動通信5Gは、既存の移動通信をさらに発展させた超高速・大容量、多数接続、超低遅延などの特徴を持つ次世代の移動通信であり、国内外においてその実現に向けた取り組みが活発に行われています。本講演では、5Gの新技术・標準化の最新動向と、5Gの応用により提供が期待される新しいアプリケーション・サービスについて、幅広い業界と連携したシステムトライアルなど5G実現に向けたドコモの取り組み状況についてご講演いただきました。

14:40～15:45 『ギガビット時代の電磁波セキュリティと規格』

NTTネットワーク基盤技術研究所

ネットワークアーキテクチャプロジェクト 主幹研究員 富永 哲欣 氏

無線高度利用、電子機器の社会実装が進む中、電磁両立性の社会への影響が大きくなっています。従来、規格は限度値と呼ばれる最低限を決めています。本講演では、最近話題のHEMPなどの電磁波セキュリティの観点から適正値のあり方についてご講演いただきました。

15:45～15:55 休憩

15 : 55～16 : 55 『ギガビット研究会の活動状況と今後の取り組み』

- |                    |              |         |
|--------------------|--------------|---------|
| 1. 設計ガイドラインセミナー入門編 | 研究会代表        | 上 芳夫    |
| 2. P S D分科会        | 研究会代表        | 上 芳夫    |
| 3. IoTに関連する課題に向けて  | 研究会代表        | 上 芳夫    |
| 4. ウェアラブル分科会       | 名古屋工業大学 名誉教授 | 藤原 修 先生 |

16 : 55～17 : 00 閉会挨拶 名古屋工業大学 名誉教授 藤原 修 先生

17 : 30～ 懇親会  
調布パルコ 天濱にて



シンポジウムの様子

会場でお願ひしたアンケートに対して、参加された方々から有益なご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。一部を紹介させていただきます。

### 感想・要望

- ・5Gのご講演では、最近の研究開発状況など様々な事例をご紹介いただき参考になりました。電磁波セキュリティのご講演では、HEMPなどの時事的なものから、セキュリティ、またNTTでの実例をご紹介いただき参考になりました。
- ・5Gの新技术は仕事の分野とは違いますが非常に興味深く、今後の生活環境の変化が見てとれました。HEMP、言葉は知っていましたが実状/原理は知らない事であったので勉強になりました。電磁波セキュリティという言葉を知れて良かったです。今後、仕事にも意味を持つと考えます。
- ・5Gのお話は大変夢多く、明るい未来が見えてきました。技術者がやっぱり必要です。安全をキープする事も大事と感じ入りました。が、やはり技術者の育成でしょうか。ギガビットのご貢献、すごく期待されると思います。
- ・日頃なかなか聴講しえないEMCの話題の講演で、大変興味深く有意義なシンポジウムでした。
- ・Society5.0の実現にはハードウェアが必須ですが、日本メーカーが物を作らなくなっています。(設計も、ハードも、ソフトも)手を動かして、製品化して、運用して、問題を出して改善するサイクルが大切だと思います。そのためには、ハードウェアを作る所、設計する所が重要です。ギガビット研究会の活動、ハードウェアの重要性はますます高まると思います。

皆様のご要望に沿えるよう努めてまいりますので、今後ともご支援ご協力を宜しくお願ひいたします。

以上